

令和3年度 宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校（全日制） 【自己評価表】

《 4段階評価 4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する 》

教育目標A		1 知徳体の調和のとれた人材の育成を目指す。 2 校訓「正義」「寛容」「実行」を具現化し、21世紀を担う人材の育成を目指す。						
B 重点 目標	C 評価項目	計 画(PPLAN)	実 践(DO)	評 価 (CHECK)		改 善 (ACTION)	学校関係者評価委員	
		D重点努力目標 (評価指標)	E方策・手立て (数値目標)	学校 自己 評価	総合	・結果の考察・改善	評価 (評価できる点、改善して欲しい点)	
学力 向上 と 進路 実現 (知育)	基礎・基本の定着と学力向上	①授業の改善・授業力の向上 ②学習習慣の確立 ③読書活動の推進	①・研究推進部による授業改善計画のもと、テーマを設定し、授業力向上に努める。 ・常時授業相互参観、研究授業期間(1・2学期)等を活用し、教科科目で授業改善に臨む体制を作る。 ②・自宅学習の指導・調査(1・2年210分3年250分)定期考査後に調査を実施して実態把握に努めた。 ・学習と生活のしおりの活用 ・提出物の徹底と評価 ③・Google Classroomを活用し、積極的に情報配信を行うことで図書館利用の促進をはかる。	3	3	①・次年度から始まる「新学習指導要領」「観点別評価」の共通理解を図る機会を充実させ、円滑な導入に向けての準備を行った。 ・研究授業期間にのべ150人が参観し、各自の授業改善の一助に出来た。 ②・コロナ禍により、4月当初における学習の習慣づけの初期指導が難しかった。教科担任レベルでのclassroomやロイロノートの活用で自宅学習に対してのサポートが充実し始めている。 考査前指導において、学年会が学年をまとめる形で実施し、例年より積極的に指導できている。 ③・classroom登録数240名(中学生含む)。平均貸出冊数前年比18%減。利用者前年比14%減。利用促進の目的は達成できていない。別なアプローチが必要である。		・研究授業の参加者が多く意欲が見られます。改善後の授業力の向上が期待できます。 ・コロナ禍で、学力の問題が浮き彫りになってきました。家庭内の学習においては学校側で指導するのは限界があると思います。許可を得た御家庭に、子供達が勉強している様子を、文章かできたら写真(顔なし)にして、共有することも良いかもしれません。 ・学習の習慣づけには、個人差もあり初期指導の難しさがあったと思います。
	進路指導の充実	①進路意識の高揚 ②進路実現・学力向上 ③進路資料の充実	①・進路目標早期決定のための進路面談の充実 ・1,2年生対象に「職業講座」、「大学出前講座」を実施する。 ②・朝夕課外、長期休業中課外、難関校対策講座(SUCCESS)の充実、「泉模試」の実施・活用 ・推薦入試に対する指導(小論・面接・討論指導等) ③・「進路の手引き」「合格体験記」の活用 ・学力検討会・志望校検討会の充実 ・進路だより「汲泉」の発行(毎月1回発行)	3	3	①・オープンキャンパスは九州内の大学を計画していたが新型コロナウイルス感染拡大のため中止した。大学出前講座(18講座)、職業講座(17講座)は感染予防策を徹底して実施し、生徒の職業観進路意識の醸成に役立てることができた。 ②・休校措置や時差登校の関係で課外が実施できないことも多かったが超難関講座(8組3年対象)やサクセス(各学年)など充実した取り組みが行えた。本校独自の「泉模試」を実施し、生徒に進学に必要なレベルを示し、有効な進路判定資料として活用できた。また問題検討を通して教科担の指導力向上に効果を上げた。推薦入試に対する指導も各教科の協力で受験生一人一人に担当教師を割り当て充実した指導ができた。 ・今年度から土曜講座を廃止し、生徒に時間を返すことで自ら計画して学習できる環境を整えた。 ③・「合格体験記」「共通テストを受けて」に加え、進路便り「汲泉」は、月1回の発行を行い、生徒、保護者に進路情報を的確に提供できている。進路判定会、学力検討会については、事前に資料を配付し、要点をしばった形で実施したので、時間を短縮でき、内容の濃い会とすることができた。	3. 4	・大学出前講座や職業講座はとても良いと思います。大学生も現在キャンパスへなかなか行けないと聞いていますので、高校生にとってもイメージし辛いと思うので、今後も必要な取り組みと思います。 ・土曜講座を廃止し、生徒に時間を返す事で自ら計画して学習するという自立型の環境について評価できます。ただ、土曜講座廃止で生徒一人一人が、勉学に対して計画的に時間配分を行うことができたか少し気になります。

人権 規範意識 の向上と 生徒指導 を養う	①人権意識・基本的生活習慣の 確立と育成 ②安全教育の推進 ③環境美化意識の高揚	①・クラス等における常時指導 ・情報モラル講演会、LHR時で人権教育の実施 ・服装容儀点検の実施 ②・交通安全教育や薬物乱用防止教室、防災避難訓練 部活動安全点検の実施 ③・清掃の徹底、学習環境の改善、ゴミの分別徹底 ・部活動分散清掃の実施 ・校内緑化の推進と維持管理	3	3	①・今年度も講演会等は感染症予防のため、9月に高 1、2年で実施したが、4月実施が良いと感じた。 ・数年ぶりの服装容儀点検を実施した。 ②・部活動で安全点検を定期的に行った。交通マナー については継続的な啓発活動を行うことで当事者 意識を持たせなければならない。 ③・個人や部活動によって清掃活動に対する取り組み に差が見られるが、概ね良好である。コロナ禍の 中で感染防止対策等も清掃活動で行っていきた い。	3. 3	・都城は交通事故も多く、一旦停止を守ら ない方が多いエリアと聞いています。子供 達に青信号でも左右を確認させることの徹 底をお願いいたします。 ・ソーシャルメディアの世界は、今後も広 がるばかりです。抑制することより、何を したらどうなるのか。そのような動画等 を用いた教育も必要かもしれません。 ・SNSのトラブル等において、保護者との 連携は大丈夫だったでしょうか。 ・コロナ禍における感染防止対策と同時に 清掃活動についても大切だと思います。
	(徳 育) 道徳・人 権教育の 推進	①教育相談の充実 ②いじめの早期発見・未然防止 ③人権教育の推進・意識の高揚	①・教育相談体制の充実及び周知 ・教育相談便りの発行とSCとの連携 ②・いじめ不登校対策委員会の定期開催 ・いじめ防止年間計画の実施 ③・人権に関するLHRの実施 ・拡大学年會での職員研修の実施	3	3	①・教育相談便りを定期的に発行し、校外の相談窓 口の周知等につとめた。 ②・委員会で密な情報共有が出来た。SNS関係のト ラブルは1年生で多いのが現状である。 ③・人権教育の前に拡大学年會は指導に効果があつ た。今後も継続していきたい。	
文武 連道 推進 (体 育)	①心身の健康のための保健教育 の推進、感染症に対する予防 と対策 ②思春期健康教育の推進と応急 措置研修の実施	①・学校医や保健所等との連携・強化 ・保健だよりの定期的発行、健康講話の実施 ・新型コロナウイルスの予防と対策 ②・性に関する授業(WYSH)の実施 ・職員生徒を対象とする心肺蘇生法講習会の実施 ・エピペン講習会の実施	3	3	①・健康診断は新型コロナの影響で計画通りに進まな かったが、2学期までに終えることができた。健 康講話はコロナの為に中止。コロナ対策は関係職 員や養護教諭と連携して対応する事ができた。特 に都城地区に感染者が多い時期に昼食時の黙食の 徹底を行った。 ②・WYSHについては新型コロナの関係で実施がで きななかったが、心肺蘇生法の講習については都城 消防局に講師を依頼し実施できた。	3. 5	・コロナ対策として、黙食の徹底は評価で きると思います。 ・性に関しては、今や容易に様々な情報が 入手できます。子供たちが性教育に関する どのような授業を受けているか親も知りた いです。 ・都泉祭の運営等については、自主性に秀 でた子供達が多いと思います。引き続き御 指導をよろしく願いいたします。
	自主性 のある生徒 の育成	①学校行事への積極的参加 ②生徒会の育成と活性化 ③部活動の充実と勉学との両立	①・生徒が主体となった学校行事の企画・運営 ・都泉祭の主体的実施 ②・生徒会総務・委員会を通じた学校生活への参画 ・定期的な会議を行い、学校の課題発見や解決への 話し合いを行う。 ③・部活動の意義や目的を理解した自主的な活動実践 ・部長、キャプテン集会の充実	3	3	①・都泉祭は生徒実行委員会を中心となり、コロナ禍 でありながらも、昨年度のもの土台に新しいも のを積み重ねることができた(オケストレット)。 ②・中学生1日体験や学校紹介ビデオ等、生徒主体で 活動できた。これからは、各種壮行式の運営も委 ねていきたい。 ③・定期的な集まりで、教师生徒間の双方向の情報共 有ができた。各種委員会と同時開きのため、全員 集まることができなかった会もあった。	
広 報 活 動 の 充 実	①学校HPの改善・充実 ②PTA新聞、学校パンフレッ ト・学校紹介DVDの充実 ③1日体験入学の充実 ④中学校訪問の充実	①・校外における生徒の日々の活躍とともに、コロ ナ対応など新しい生活様式に向けての取り組みに ついてタイムリーに発信する。また、新たな発 信のスタイルとしてG Suiteの活用を推進する。 ②・内容を毎年検討し、在校生や卒業生の活躍や活動 が伝わるように作成する。 ・PTA新聞の内容を精選し、より伝わりやすい紙 面づくりを工夫する。 ③・来年度の実施に向けた企画と検討。 ④・1回目は教職員全員で分担し泉ヶ丘の良さをアピ ール。2回目は運営委員で分担し説明会に参加。	3	3	①・学校ホームページ、生徒の活躍に加え、コロナ対 応などの発信の場としての役割を果たした。生徒、 保護者もホームページを閲覧する習慣が増え、4 月から20万を超えるアクセスがあった。また、 G Suiteを活用した健康状態等アンケートを運用 し、定着が見られた。 ②・文武連道をテーマに、勉強と部活動の両立をアピ ールすることができた。 ・年3回発行し、コロナ禍における本校生徒の活動 の様子を適切に伝えることができた。 ③・7月には生徒向けの説明会、11月には保護者向け の説明会を実施することができた。しかし、コロ ナ禍を受け、予定していた授業公開は実施するこ とができなかった。 ④・全職員で共通理解を図り、新課程に向けた学校と しての対応を説明することができた。	3. 5	・学校の魅力が伝わる広報活動を引き続き よろしく願いいたします。 ・学校ホームページやPTA新聞の充実 により、学校の様子が見れたのが良かったで す。 ・G Suiteを活用した健康状態アンケートの 運用が定着されている事は大変評価でき ると思います。